

産総研東北センター夏休み特別見学ツアー 実施報告

田口 修弘¹・佐藤 麻樹¹

2025年の夏、産業技術総合研究所東北センター(以下「東北センター」)構内には子どもたちの元気な声が響き渡り、普段は静かな研究所はフレッシュな活気に包まれました。東北センターでは、2025年7月22日から8月29日にかけて「夏休み特別見学ツアー」を実施しました。本ツアーは、学校の夏休みシーズンに合わせた期間限定の見学企画で、メインの対象は小学生と保護者です。内容は、東北6県の岩石・鉱物の見学、顕微鏡で食塩や葉っぱなど身近なものを観察する体験、アザラシ型メンタルコミットロボット「パロ」との触れ合い、ナノレベルまで対応可能な材料開発拠点であるナノマテリアル試作・評価プラットフォーム(以下「NEPP」)の見学など盛りだくさんのプログラムで構成しました(写真1)。見学時は、東北センターの広報担当職員が見学者をアテンドしました。期間中の平日は毎日、午前と午後に1回ずつ、1回1時間の見学枠を設け、小学生とその保護者を中心に合計83名の見学者にご参加いただきました。

この本ツアーの目玉となったのが、東北6県の岩石・鉱物の展示です。地質調査総合センター(以下「GSJ」)から標本を借用して、東北センター内の見学コースに展示しました。見学コースは、NEPPの整備に合わせて、2023年にオープンしたもので、NEPP見学やディスプレイ付き展示台による研究紹介が主な見学内容です。普段の平日は学校があるため、小学生を始めとする一般の方々の見学は難しいですが、夏休みの期間に合わせて、東北の岩石・鉱物の展示を目玉とした「特別見学ツアー」を実施することで、多くの方の参加を狙いました。

標本は、東北6県の岩石・鉱物で、各県につき岩石・鉱物それぞれ1種類を借用してディスプレイ付き展示台に展示しました(写真2、第1表)。その多くは日本地質学会に



写真1 夏休み特別見学ツアーのチラシ。



写真2 ディスプレイに表示された解説文。

第1表 展示した岩石・鉱物の標本。* 県の石・県の鉱物

	岩石	鉱物
青森県	錦石*	菱マンガン鉱*
岩手県	蛇紋岩*	鉄鉱石(磁鉄鉱)*
宮城県	黒色粘板岩(スレート)*	石膏
秋田県	珪質泥岩*	黒鉱*
山形県	デイサイト凝灰岩*	カオリナイト
福島県	黒雲母片麻岩*	ペグマタイト鉱物*

¹ 産総研 東北センター産学官連携推進室

キーワード：東北センター、見学、岩石、鉱物



写真3 見学者に対して説明している様子。

より選定された「県の石」に該当します(産総研地質調査総合センター, 2017; 日本地質学会, 2025)。そして、ディスプレイには、GSJの協力で作成した岩石・鉱物の写真や解説文、GSJの概要文を表示して見学者に紹介しました。また、岩石と鉱物の違いや県の石の概要についても口頭で説明しました(写真3)。自由見学時には、見学者は展示された岩石・鉱物を熱心に観察し、「どのようにしてできるのか」「菱マンガン鉱はなぜピンク色なのか」「鉄鉱石を使って今でも国内では鉄を作っているのか」など様々な質問が寄せられました。中には宮城県内で採取した石を持参し、展示中の岩石・鉱物と見比べて同じものが無いか観察する見学者もいました。

一方、解説には専門用語も多く、小学生には難しい内容もありましたが、岩石や鉱物が日常生活や社会でどのように活用されているかを示すことで関心が高まり、一定の理解につながったのではないかと考えています。特に石英について、占いで使う水晶玉と同じ化学組成である旨を伝えると、大きな関心が寄せられました。

小学生を始めとする一般層の見学者への説明においては、自身や身の回りにあるものとの関連性を示すことが、楽しく産総研の研究に触れていただくには大切なだと実感しました。また、関心を示していただいた内容については、より詳しい専門的な解説を行うことで知的好奇心を満たし、充実感のある体験につながることをあらためて感じました。

最後に、貴重な標本の貸与やコンテンツ作成へのご協力など、多大なるご支援を賜りましたGSJの皆様には、特に地質情報基盤センターアーカイブ室の柳澤教雄氏にここに深く御礼申し上げます。東北センターでは、今後も積極的に見学者を受け入れ、産総研の認知度向上に寄与する取り組みを継続してまいります。

文 献

日本地質学会(2025)「県の石」: 北海道・東北. <https://geosociety.jp/name/content0150.html> (閲覧日: 2025年10月31日)

産総研地質調査総合センター(2017)地質標本館2017年新春特別展 ふるさとの新たな主役「県の石」パンフレット. 25p.

TAGUCHI Nobuhiro and SATO Asaki (2026) Report on the summer vacation special tour in AIST Tohoku.

(受付: 2025年11月25日)